

運 営 基 本 方 針

新型コロナウイルス感染症の5類移行が目前になり、生活スタイルや取り巻くスポーツ環境が依然の姿に戻りつつあります。この3年間での変化を好機ととらえ、変えるべきところは変える、省ける部分は簡略化するなどを進めながら、新しい姿への前進を進めていきたいと考えます。ただし、引き続きの健康管理は重要と考え、子どもたちが安心・安全な状況で活動できる環境の確保することは、引き続き重要です。

京都府小学生バレーボール連盟は、日本小学生バレーボール連盟の基本理念である『ど真ん中に子どもがいる日本小学生バレーボール連盟』をスローガンとして、バレーボールを通じて人間力を育てる役割を担っていくことを大切にしていきます。そして、子どもたちに夢と希望をもたせ、努力することの大切さ、協力することの素晴らしさ、そして最後までがんばりぬくことの尊さを教え、心豊かでたくましい子どもを育てることを大切にしたいと考えます。

○子どもを支えることが、大人（指導者、保護者、役員）の役割です。

- (1) 子どもたちが基礎・基本の技術等をバランスよく習得できる指導者の育成を目指します。
- (2) 「つなぐ」という特性を生かし、仲間を大切にし、子どもたちが幅広く豊かな人間力を身に付けられる指導の場を目指していきます。
- (3) 体罰・暴言・不適切な指導を許さず、「共育ブック」を活用し、子どもたちが、ドキドキワクワクできるバレーボールの姿の実現を目指します。

○新たにバレーボールを始める子どもを増やすことや競技人口を減少させないことに尽力を注ぎます。

- (1) 子どもの成長過程に応じて常に考えながら、発達段階に応じた指導方法を共有しさらなる競技の普及を努めます。さらには、低年齢層にも競技の魅力を伝えていく努力を行います。
- (2) 「いじめ・虐待・嫌がらせ・差別(BAHD)」の防止啓発活動に努めます。
いじめ(Bullying)・虐待(Abuse)・嫌がらせ(Harassment)・差別(Discrimination)

○「資質向上と新しい人材の育成」を目指します

- (1) 各主催大会においては、各チーム指導者による相互審判（帯同審判）制を止む無く進めている状況の中、指導者資格の有効活用を目指し、各指導者並びにチームの指導力・審判技術の向上を目指します。
- (2) 新指導者資格制度（更新講習を含む）を活用し、時代が求める指導者指導者の育成を目指します。
- (3) 日本小学生バレーボール連盟・近畿小学生バレーボール連盟との連携を進め、小学生バレーの発展に向け、多くの繋がりを大切にしていきます。

○「運営のスリム化」に向けて

- (1) MRSシステムや連盟ホームページの活用を進め、さらなる経費削減に努め、「オンライン」による調整を効率よく進めていきます。
- (2) 役員改選期にあたり、積極的な運用を図り、各役員のつながりを大切にし、それぞれが充実感を得られるよう運営を図っていきます。

※倫理委員会より

指導の場において「いじめ・虐待・嫌がらせ・差別」は許されません。

『子どもたちが笑顔でバレーボールに取り組む環境を作りましょう!』

何か相談事がありましたら、倫理委員会委員長・吉岡まで。

<連絡先 Email : ben-05512@agate.plala.or.jp >